

プロジェクト **ASAF 対応**項目 **2025 年 10 月 ASAF 会議における ASBJ の対応方針**

I. 本資料の目的

1. 本資料は、本日の企業会計基準委員会（以下「当委員会」という。）においてご審議いただく事項についてご説明することを目的としている。

II. 2025 年 10 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応

ASAF 会議における議題

2. 2025 年 10 月 2 日にロンドンで開催予定の ASAF 会議では、以下の議題について議論することが予定されている。

| 議 題 | 発表者 | 予定 時間 | 参照 ページ |
|---------------------------|------|----------|-----------|
| 企業結合－開示、のれん及び減損 | IASB | 75 分 | 2 |
| 無形資産 | IASB | 90 分 | 3 |
| キャッシュ・フロー計算書及び関連事項 | IASB | 90 分 | 4 |
| 持分法 | IASB | 75 分 | 4 |
| プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題 | IASB | 15 分 | 5 |

各議題の対応方針

3. 前項に記載した各議題への対応については、次項以降のとおりである。

(企業結合—開示、のれん及び減損)**議題の概要**

4. 本セッションでは、公開草案「企業結合—開示、のれん及び減損（IFRS 第3号及びIAS 第36号の修正案）」に関して、企業結合の業績等に関する情報の開示について免除が適用される状況及び免除の適用や、リストラクチャリング及び資産の拡張から生じるキャッシュ・フローの提案の側面について、ASAFメンバーの意見を求めるとされている。

ASAF 会議での質問事項

5. ASAFメンバーに対する質問は、次のとおりである。

(1) 免除が適用される状況（アジェンダ・ペーパー（以下「AP」という。）1A スライド12）

- ① 企業結合の業績及び期待されるシナジーに関する情報の開示が、ASAFメンバーの法域内における法律上/規制上の要求事項に違反する状況の例はあるか。

これらの状況において、企業の情報開示を免除すべきと考えるか。

- ② 企業結合の業績及び期待されるシナジーの情報の開示について、（質問①以外で）社会的な悪影響又は業務上の悪影響をもたらす例はあるか。なお、すでに免除の対象とされたものを除く。

これらの状況において、企業の情報開示を免除すべきと考えるか。

- ③ 免除の範囲について、質問①及び質問②に挙げた例をカバーしつつ、不必要に他の状況に拡大しないような精緻化の提案はあるか。

AP1A スライド11の提案（免除の要件を、「『企業結合の成功を著しく損なう』ことが予想される場合」とする方向で見直し、取得日における主要目的の達成は企業結合の成功の一例である（唯一の例ではない）ことを明確化する提案）は、この論点に効果的に対処できると考えるか。

(2) 免除の適用（AP1A スライド17）

- ④ 設例開発の便益とコストを踏まえて（AP1A スライド15参照）、免除を適用できる状況の例を含めるべきと考えるか。

- ⑤ AP1A スライド16に記載される例（新製品の発売、法律上/規制上の要求事項の違反）以外で、設例の開発の検討が可能な状況の例はあるか。

- ⑥ AP1A の付録 A に含まれる設例について、意見や提案はあるか。
- (3) リストラクチャリング及び資産の拡張から生じるキャッシュ・フロー (AP1B)
- ① 便益とコストを考慮した場合 (AP1B スライド 11 参照)、IASB は資産の現在の潜在能力を反映するキャッシュ・フローと、そのような潜在能力を反映しないキャッシュ・フローを例示する設例を開発すべきと考えるか。
- ② AP1B の付録 A に示されている設例と同様の設例は、利害関係者が資産の現在の潜在能力という概念をより良く理解し適用するのに役立つか。あわせて理由を説明されたい。役立たない場合、どのような変更を提案するか。その理由も説明されたい。

ASBJ の対応方針

6. 本議題は、第 158 回 ASAF 対応専門委員会 (2025 年 9 月 17 日開催) において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

(無形資産)

議題の概要

7. 本セッションでは、無形資産プロジェクトに関し、無形資産の定義、関連するガイダンス及び認識規準のいくつかの側面を更新すべきかどうかを検討する際に、テストケースとして選択された適用上の問題、及び新種の無形資産やその新しい利用方法に関する問題について、ASAF メンバーからの意見を求めるとされている。

ASAF 会議での質問事項

8. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。
- (1) クラウド・コンピューティング及びアジャイルソフトウェア開発について、さらに検討すべき原則及びトピックに関するスタッフの分析に同意するか。何かが漏れていると考えるか。漏れている場合、何が漏れているか。
- (2) さらなる検討のための具体的なテストケースとして AI 及びデータ資源を選択しないというスタッフの初期的な見解に同意するか。同意しない場合、その理由は何か。ASAF メンバーの法域内の利害関係者から聞かれたその他の懸念はあるか。
- (3) IASB が検討すべきと考える別の潜在的なテストケースはあるか。

ASBJの対応方針

9. 本議題は、第158回ASAF対応専門委員会（2025年9月17日開催）において審議を行っており、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

(キャッシュ・フロー計算書及び関連事項)**議題の概要**

10. 本セッションでは、キャッシュ・フロー計算書及び関連事項プロジェクトに関し、IAS第7号「キャッシュ・フロー計算書」（以下「IAS第7号」という。）における分類に関する要求事項の一貫した適用が行われていないことの一因となっている可能性がある基礎要因についてASAFメンバーからの意見を求めるとされている。また、IASBスタッフが識別した基礎要因及びIAS第7号がどのように適用される可能性があるかを説明するために、過去にASAFメンバーが分類に一貫性がないと識別した取引が例として使用される。

ASAF会議での質問事項

11. ASAFメンバーに対する質問は、次のとおりである。
- (1) 4つのシナリオにおける、以下に関するIASBスタッフの初期的な分析に同意するか。同意しない場合、ASAFメンバーの法域における具体的な事実パターン及び証拠を提供して、理由の説明を求める。
 - ① 一貫した適用が行われないことの一因となっている可能性がある基礎要因
 - ② 当該例の分類は、IAS第7号を適用することで一般的に決定可能であること
 - (2) 一貫した適用が行われないことの一因となっている可能性があるその他の要因はあるか。
 - (3) IASBスタッフの初期的な分析について、何かコメント又は質問はあるか。

ASBJの対応方針

12. 本議題は、第72回ディスクロージャー専門委員会（2025年9月17日開催）において審議を行っており、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

(持分法)

議題の概要

13. 本セッションでは、公開草案「持分法会計－IAS 第 28 号『関連会社及び共同支配企業に対する投資』（202x 年改訂）」（以下「ED」という。）における以下の具体的な提案について、ASAF メンバーからの意見を求めるとされている。

- (1) 「関連会社の原価」の測定－取得関連コスト
- (2) 所有持分のその他の変動－希薄化の利得又は損失

ASAF 会議での質問事項

14. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。

- (1) 「関連会社の原価」の測定－取得関連コストの取扱い

持分法の適用上、投資者は取得関連コストをどのように認識すべきか（論拠を含む）。

代替案 1：発生時に純損益に認識する。

代替案 2：関連会社の原価の一部として認識する。

- (2) 所有持分のその他の変動－希薄化の利得又は損失

① 所有持分のその他の変動における希薄化の利得又は損失を純損益に表示する ED の提案に賛成か。

② 上記①に賛成ではない場合、次の代替案のいずれを支持するか（理由を含む）。

代替案 1：希薄化の利得又は損失を認識しない。

代替案 2：希薄化の利得又は損失を資本に表示する。

代替案 3：希薄化の利得又は損失をその他の包括利益に表示する。

③ 「間接的な」希薄化への ED の提案の適用方法を明確化すべきと考えるか。

ASBJ の対応方針

15. 本議題は、第 158 回 ASAF 対応専門委員会（2025 年 9 月 17 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

(プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題)

16. 2025年12月1日及び2日に開催予定のASAF会議では、以下の議題が提案されている。

(1) 持分法

プロジェクトの進捗状況に関するアップデートをASAFメンバーに提供し、公開草案における具体的な提案について、ASAFメンバーの意見を求めるとされている。

(2) キャッシュ・フロー計算書に関するUKEBのプロジェクト

英国エンドースメント審議会(UKEB)がキャッシュ・フロー計算書に関するプロジェクトの内容を紹介する。

(3) キャッシュ・フロー計算書及び関連事項

MPM(経営者が定義した業績指標)の要求事項をキャッシュ・フロー指標にまで拡張する暫定的提案を含む、プロジェクトにおいて検討されているトピックの側面についてASAFメンバーの意見を求めるとされている。

(4) 無形資産

認識されている無形資産及び認識されていない無形資産並びにそれらに関連する支出についてのASAFメンバーの法域内における利用者の情報ニーズについて、意見を求めるとされている。

(5) 償却原価測定

2025年9月からのIASB会議で議論される、実効金利の変更及び金融商品の条件変更に適用されるIFRS第9号「金融商品」の要求事項への潜在的改善について、ASAFメンバーの意見を求めるとされている。

(6) 企業結合—開示、のれん及び減損

業績情報及び期待されるシナジー情報を含む、さまざまなトピックへの代替的アプローチについてASAFメンバーの意見を求めるとされている。

(7) 共通支配下の企業結合に関するOICのプロジェクト

イタリア会計基準設定主体(OIC)が共通支配下の企業結合に関するプロジェクトの内容を紹介する。

以上